

インタビュー	P.1
東京経済大学学長 堺 憲一氏 学長のリーダーシップで進む教学改革～ 東京経済大学の現在と未来	
★連載 第2回	P.5
国が動き・地方公共団体も動くファシリティマネジメント	
★2014 学校施設づくりセミナー 講演-1	P.6
首都大学東京理事・名誉教授 工学博士 上野 淳氏	
★2014 学校施設づくりセミナー 講演-2	P.8
工学院大学建築学科まちづくり学科 准教授 村上 正浩氏	
★大学施設におけるコージェネレーションシステム について	P.12

# Campus Management Report21

No.3

キャンパス マネジメント リポート 21

## 新たな教育改革へ、「今、文教・学校が抱える課題を考える」

本号は、東京ビックサイト会議棟で11月21日(金)に開催する「2014学校施設づくりセミナー」特別版として発行した。弊誌で毎号好評を得ている大学の経営者に今後の大学改革など、未来像を語っていただくインタビューでは、21世紀の日本の社会、経済全体に人びとの生き方、あり方を提案できる大学をめざし、学長自ら

大学の教学改革に取り組む東京経済大学学長 堺 憲一氏に話を伺った。

また、同セミナーの関係では、「学校建築に求められるパラダイムシフト:学校建築の老朽化対策と長寿命化改修への道」と大学の危機管理対策をねらいに「大学の地域防災機能と役割」を掲載している。

### INTERVIEW

## 学長のリーダーシップで進む教学改革～ 東京経済大学の現在と未来

急激かつ複雑な変化を続ける現代社会。この時代の変化に対応した自己改革を自ら率先して行うことが、昨今の大学には求められている。今回は、教学改革に現在進行形で取り組んでいる東京経済大学を訪問し、改革を先頭に立って進める堺憲一学長にお話を伺った。

### 大学を取り巻く現状の把握

すでに日本の人口減少は始まっていますが、2019年ころまで、18歳人口は、それほど大きく減少しません。したがって、この数年の間に、将来に向けての基礎をしっかりとくつていく必要があります。そのためには、IR<sup>\*1</sup>の分析による社会と大学をめぐる動向の把握を踏まえた基本方針・戦略・ビジョンが必要になります。そこでまず、「IR推進委員会」を設

し、総合的・体系的な調査を実施していく態勢をつくりました。そして、副学長・学部長・学長補佐などの意見交換をベースにして、7月に具体的な「教学改革プラン(案)」という形で基本方針を作成するための「たたき台」をつくりました。その後、教職員から上がった意見を盛り込み、修正案を作りつつあります。11月には、修正されたものを再度、教職員に提示したいと考えております。改革案のなかで方向性が明確になったものについて

は、大学関係者に納得してもらえる形とプロセスを念頭に置きながら、迅速に実施していくつもりです。

その際、本学が未来に向けてどのように進んでいくべきなのかという点についても、私なりの構想を盛り込みました。そうしなければ、教職員も自分の役割や仕事などがイメージしにくいのではと考えたからです。将来に向けての青写真には、「総合的なもの」と「各分野」に関するものがあります。後者に関しては、「教育」「研究・



東京経済大学学長  
堺 憲一氏

東京経済大学学長・経済学博士。経済学部長・学長補佐・副学長などを経て、平成26年4月より学長に就任。就任後直ちに「教学改革推進会議」を設置してその議長も兼ね、教学改革を進めている。